

きくがわ高校生まちづくりスクール 実施報告書

菊川市市民協働センター

目的：高校生のアイデアや企画をまちづくりに生かす。

概要：高校生自身が、自分の好きなことややりたいことなど関心のあるテーマを見つけ、地域課題に取り組む NPO で体験しながら、実現可能なプロジェクトを提案し、実践する。

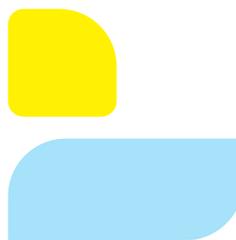
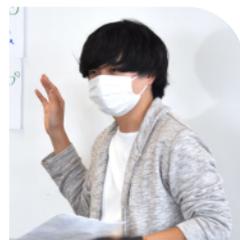
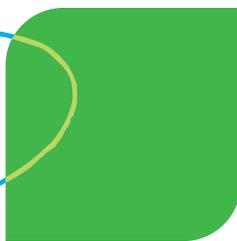
講師：土肥潤也氏 一般社団法人トリナス 代表理事、NPO 法人わかものまちなんなの図書館さんかく館長、内閣府若者円卓会議

参加者：17人 常葉大学附属菊川高校：4名 小笠高校：7名
掛川工業高校：3名 掛川東高校：1名
掛川西高校：1名 静清高校：1名

会場：菊川市役所東館 プラザきくる3階会議室

時期	内容	詳細
6月26日（日） 9:00 - 12:00	第1回講座 チームをつくろう	自分の興味関心を言葉にしよう チームづくり インターンシップ先を決めよう
7月31日（日） 9:00 - 15:00	第2回講座 まちづくりって何？	まちづくりとは 企画書を作ろう
8月28日（日） 9:00-12:00	第3回講座 中間報告会	活動の進捗報告 最終報告会までの活動計画づくり
9月25日（日） 9:00 - 12:00	第4回講座 マイプロジェクト会議	活動のさらなるブラッシュアップ プレゼンテーションのスキル
11月10日（木） 18:00 - 20:30	第5回講座 最終報告会	公開プレゼンテーション 賑わいづくり研究会への報告

きくがわ 高校生 まちづくり スクール



全5回 参加無料

2022. 6.26日 — 11.10木

菊川市庁舎東館 プラザきくる 3階会議室 対象 高校生 15人 ※ 20代～30代の大人が活動をサポートします

高校生の企画やアイデアをまちづくりに生かす「きくがわ高校生まちづくりスクール」が今年も開催されます。「まちづくりって何?」「地域でやってみたいことがある!」「同年代の高校生と一緒に学びたい!」と思っている人はいませんか。自分の好きなことややりたいことなど関心のあるテーマを見つけ、地域課題に取り組むNPOでインターンシップを体験しながら、実現可能なプロジェクトを提案し実践していきます。

01 6.26(日) 9:00 - 12:00

チームをつくろう
自分の興味関心を言葉にしよう
チームづくり
インターンシップ先を決めよう

03 8.28(日) 9:00 - 12:00

中間報告会
活動の進捗報告・最終報告会までの活動計画づくり

02 7.31(日) 9:00 - 15:00

まちづくりって何?
まちづくりとは・企画書をつくろう

04 9.25(日) 9:00 - 12:00

マイプロジェクト会議
活動のさらなるブラッシュアップ
プレゼンテーションのスキル

→ NPOへのインターンシップ (チームごと)

05 11.10(木) 18:00 - 20:30

最終報告会
公開プレゼンテーション・賑わいづくり研究会への報告

講師 土肥潤也氏

1995年、静岡県焼津市生まれ。早稲田大学大学院、修士(社会学)。2015年にNPO法人わかものまちなちを設立。全国各地で子ども・若者の地域参加、政治参加に関わる研修や実践に取り組む。NPO法人わかものまちなち事務局長。

みんなの図書館さんかく館長、一般社団法人トリナス 代表理事、内閣官房 ことば政策の推進に係る有識者会議(こども家庭庁)臨時委員。

申込み

保護者同意のもと、①参加者氏名 ②保護者名 ③学校、学年 ④住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレスを記載して、直接持参またはメール・右の申込フォーム(QR)で6月17日(金)までに申込みください。参加についてお気軽にお問合せください。

菊川市市民協働センター

〒439-8650 菊川市堀之内61 菊川市庁舎東館 プラザきくる2階

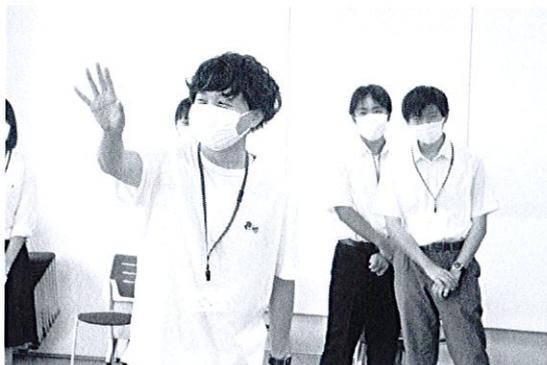
✉ kikucen1@sage.ocn.ne.jp ☎ 0537-35-2220 (平日午前9時から午後6時)



令和4年度 きくがわ高校生まちづくりスクール

第1回 実施報告書

令和4年6月26日
菊川市市民協働センター



日 時：令和4年6月26日（日）9：00～12：00

会 場：プラザきくる3階会議室

目 標：①講師・サポーター・高校生がお互いに知り合って、安心して活動できるようにする。

② 一緒に活動するグループ、インターン先が決まる。

参加者：高校生16人、サポーター7人

内 容：チームを作ろう

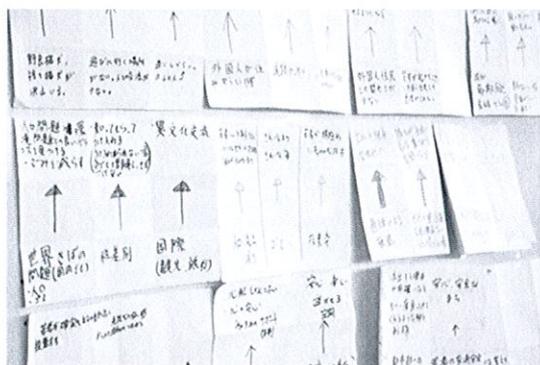
(1) オリエンテーション

- ・まちづくりスクールスケジュールと内容の紹介、アイスブレイク
- ・高校生・サポーターが、名前、愛称、学校、学年、今の気持ち、講座で期待していること、まちづくりと聞いて思い浮かぶことをそれぞれ紙に書き、4人グループで発表した。



(2) 高校生間のチームビルディング

- ・興味関心のあること、今取り組んでいること、自分が勉強してみたいテーマを9個書き出す。
- ・その中で特に関心のある3つを選び、「今の現状→未来」を紙に書く。全員分の考えをホワイトボードに貼り、共有する。



(3) グループを決めよう

- ・取り扱いたいテーマの案がある人が紙に書き、発表する。
- ・興味や関心が似ている人同士でグループを作る。

- ー移住： 都市の人間に移住してもらうにはどうするか
- ー農業： 農村の人口減少と国内生産力の低下
- ー若者×高齢者： 若者の投票率を上げるには
- ー世代交流： 高齢者と子ども・子育て世代の交流
- ー多文化： 外国人住民との関わりを増やし、異文化交流の場を作る
- ー施設： 歩いていて楽しいまちづくり
公共の施設を発展させていく
- ー本： 本、マンガを手にする機会を身近に増やしたい。
活字離れを止めることに貢献したい。

(4) 夏休みのインターシップ先の選定

- ・興味関心のインターンシップ先をそれぞれ考える。

(5) 講座終了後

- ・高校生自身でインターシップ先を選定し、申し込む。
- ・グループごとに LINE グループを作成し、情報を共有する。

きくがわまちづくりスクール第1回 アンケート

1. 「きくがわ高校生まちづくりスクール」に参加した理由やきっかけを教えてください。

- ・ 広報菊川に募集要項が掲載されていて、自分の視野を広げるチャンスだと思ったから。
- ・ 同世代の人がどう菊川市のことを考えているのか、もっと菊川のことを知りたいから！
- ・ 主体的に活動したかったから。
- ・ 面接や小論文での話題に繋がりたいから
- ・ 部活で先生に勧められたから
- ・ まちづくりという言葉に関心があったから。
- ・ まちづくりとは何か学ぶため。
- ・ 部活での紹介。
- ・ 学校でパンフレットをもらって興味をもった。
- ・ 学校からの資料の配布を見たから。
- ・ 部活動の顧問に勧められ、興味が湧いたので参加しました。
- ・ 部活動の一環。
- ・ まちづくりに興味があり、自分の知見を広げたいから
- ・ 学校の先生にすすめられた。

2. 満足度を教えてください。

とても満足	9
やや満足	4
やや不満	1
とても不満	0

(とても満足の理由)

- ・ 他の学校の人と話すことが出来たりゲームなどが楽しかったからまたサポーターの人とても優しく分からないことがあったら優しく教えてくれたため
- ・ 交流を深められた上に、互いに意見を交換することによって、自分の考え、関心を追求することができたと思うから。
- ・ 面白かった。高校生が主体となって進んで行っているのが実感できた。
- ・ リラックスした状態でいろいろな人とコミュニケーションがとれたから
- ・ いろいろな人と交流することで新しい考え方が思い浮かんだり、一人では分からない楽しさを知れたから。
- ・ 普段、近い年齢の別の高校の人達と交流をするということが少ない自分にとっては、話し合いをするだけで、非常に新鮮な気持ちになったからです。
- ・ 似てる活動をしていた方に出会えた
- ・ 楽しかったから
- ・ 自分がやりたいことをハッキリさせることが出来たから。

(やや満足の理由)

- ・自分で考えて発言するのが好きだから。
- ・サポートがしっかりしていたから
- ・様々な意見や課題、アイデアを知ることができたから
- ・どのようなものか忘れてしまいました

(やや不満)

- ・説明が詳しくて分かりやすかったから

3. 今日の講座を通してどのような学びや気づきがありましたか。

- ・まちづくりというキーワード1つでも、様々な考え、感じ方があるんだなと思いました。自分と同じ興味を持った人と会話するのは、とても楽しくて勉強になりました。また、違った考え方の人と話す際も、新しい考えに出会う事ができて視野が広がったように感じます。また、講師の土肥さんの場の進め方も勉強になりました。オリエンテーションでありがちな事でも、少しユーモア混じったやり方をしたり、時間制限を短くすることで、もっと話し合いたい！という意欲が出ていることを身を持って感じました。
- ・どんなテーマも繋がりがある
- ・自己紹介を1人1人するよりもゲームを通してお互いを知る方が打ち解けやすい
- ・いろいろな人のまちづくりを知れたり、考え方を知れた。
- ・地域でNPOがここまでの数行われているとは知らなかった。
- ・自分や大人では気づかないような高校生だから見つけられる菊川市の課題がたくさんあった。
- ・静岡は少し前まで人口流出が高かったことがわかった
- ・課題はたくさんあるということ
- ・僕と同じ年の人でもすごいいろいろなことを考えていて驚いた。
- ・考えてることは皆違ってても組み合わせることはできるということ。
- ・菊川市の良くない所がわかったり詳しくしれたことが出来た。
- ・人と関わるのは、難しい。
- ・どのようなものか忘れてしまいました
- ・人それぞれやりたいことが少しずつ異なっているということ。

4. 次回に向けて、疑問に思っていることや質問があれば教えてください。

- ・先日頂いた広報菊川1月号に掲載されていた今年のプロジェクトでは、意見交流をして、実際に行動に移したものは、パンフレット作りしか無いように思いましたが、今回のまちスクでも提案をして終わりなののでしょうか？
- ・NPO体験セミナーに行く場所がなく3ヶ所を紹介していただいたのですがいつまでに行き先を決まればいいのか？

- ・ これからの活動の仕方。
- ・ 去年はどのようなことをやったのですか。
- ・ 計画を立てる時とかに実際に菊川市を回ってみて計画を立てることは可能なかどうか。
- ・ インターンシップについて詳しくお話を頂きたい
- ・ 特にありません
- ・ どの様に進めていくのか。

令和4年度 きくがわ高校生まちづくりスクール

第2回 実施報告書

令和4年8月2日
菊川市市民協働センター

日時：令和4年7月31日（日）9：00～15：00

会場：プラザきくる3階会議室

目標：①自分たちのチカラでまちが作れる！変えられる！と思えるようになる。

②自分たちが取り組むテーマについて分析。夏休み中の調査計画ができる。

参加者：高校生14人、サポーター4人

内容：まちづくりって何？

(1) オリエンテーション

- ・前回の振り返り
- ・アイスブレイク

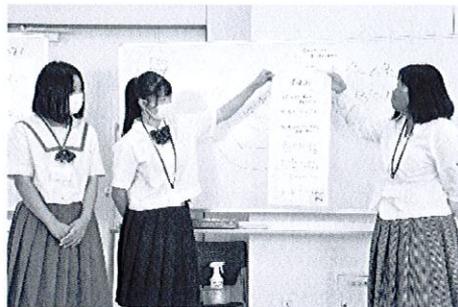
(2) グループを決めよう

7つのグループに分かれ、高校生自身が行いたいテーマを選んだ。

- ①移住
- ②農業
- ③映画×高齢者
- ④世代交流
- ⑤多文化
- ⑥公園活性化
- ⑦読書

(3) グループごとの話しあい

- ・目的を考え、「なんで？」を掘り下げていく。



グループごとに発表。

・現状と未来シート

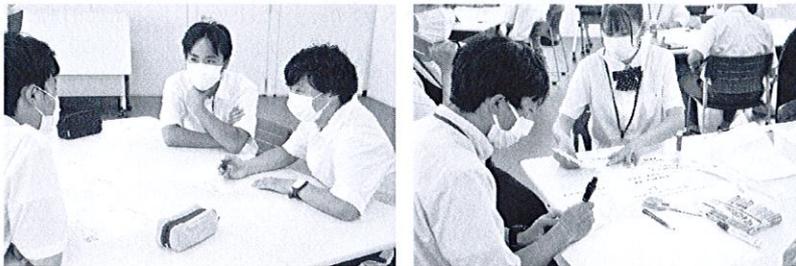
グループごとに現状と未来を書き出してまとめる。

【現状】あなたの取り組むテーマにはどんな現状/課題がある？

- あなたが嫌だな、もったいないと思うことは？
- もっとこうなったらいいのにとと思うことは？
- 現状の課題になっていること、その原因は？

【未来】その課題が解決した社会はどんな状態になっている？

- なにがどんな状態になっていそう？
- どんな未来になる？
- そのテーマにかかわる人たちは何と言っている？



(4) 講師講義

講師は「なぜ」やるのか企画の根幹である「目的」をチーム全員で共有することが第一だと伝えた。また、考えるだけでなく実際にやってみせることが重要で、計画の段階で印象(主観)と事実(客観的エビデンス)を分け、仮説と実証を繰り返しながら進むよう指南した。

(5) 調査計画を作ろう

- ・印象と事実シート
- ・中間報告に向けたプレゼン準備
 - ① 企画テーマ
 - ② 目的・動機
 - ③ 調査の結果 (印象と事実、たて・よこ・そろばん)
 - ④ 考えた解決策プロジェクト内容の4点を次回の中間報告までに準備しておく。

きくがわまちづくりスクール第2回 アンケート

1. 今日の講座を通してどのような学びや気づきがありましたか。

- ・自分の考えているまちづくりがより明確になった。
- ・高校生って意外となんでも出来るんだと思った。地域の課題は主観がほとんどで実際観る景色とは、かなり異なると知った。
- ・様々な地域課題があって、同じ目的でも手段が異なったりした。
- ・菊川を客観的に見る場合と、主観的に見る場合で大きく異なる考えになる。
- ・主観のみで原因を探るのではなく、事実をもとに判断するべきという点。
誰かとの出会いやふれあいも観光の1つだという点。
- ・何故その目的なのか、その原因を深く深く考えることで真に自分が思っている事が分かるということを知りました。
- ・自分たちの目的を明確にして、やることを決めることができた。
公園の大事さを理解した。
- ・目的を決めて仲間と調べることができた。
- ・目的や目標をもとに、どうしてその目的にしたのか考えることが大切だとわかった
- ・新しい視点から物事が見れた
- ・知らない人にも自分の意見を隠さず言えることができ、少し成長できました。
- ・菊川市には公園がいっぱいあるけどそれを活用出来てないから活性化されない。
またひとつの目的を決めても色々な課題があることを知った。
- ・たて、よこ、そろばん

2. 次回に向けて、疑問に思っていることや質問、講座への要望があれば教えてください。

- ・前日に持ち物をLINEグループでおくってほしい。お弁当をどうすればいいのか分からなかった。
- ・子育て世代に話を聞きたいのですが、その機会がなく、どのように人を集めれば良いのか教えてくださいと幸いです。
- ・他の市の人達はどのようにプレゼンをしたか気になる
- ・環境についての講座を聞きたい。
- ・次の講座でも新たな発見を見つけない。
- ・特にないです。

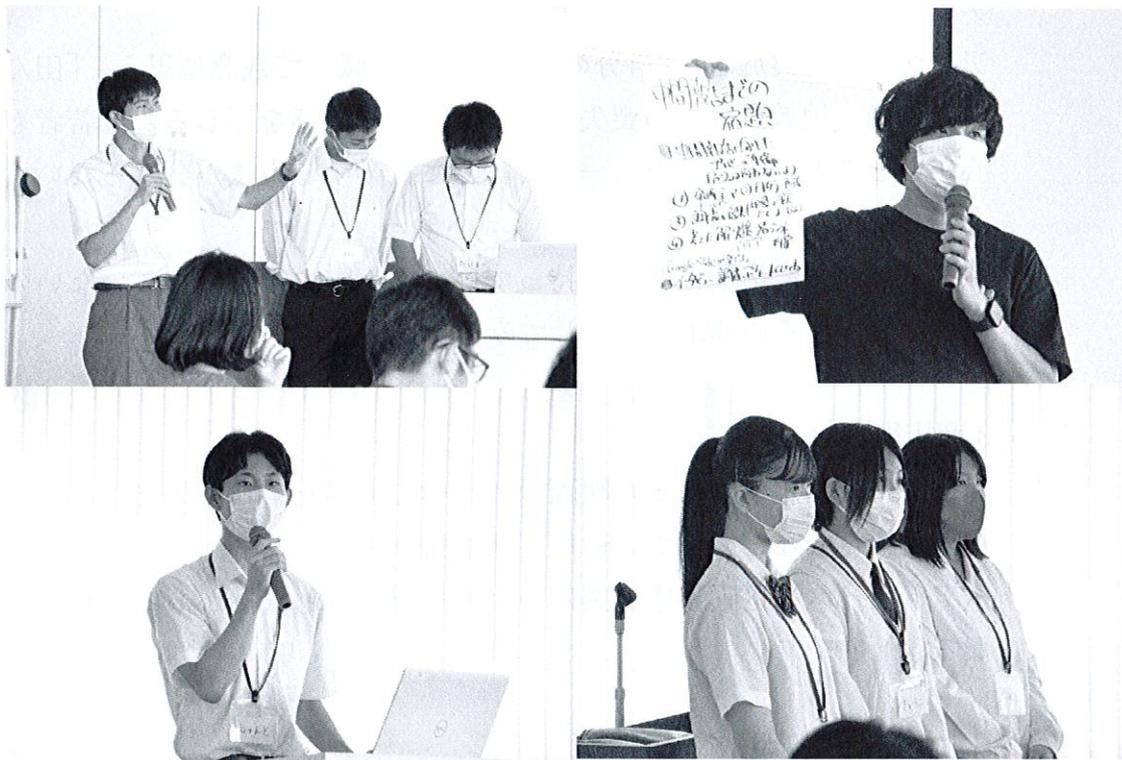
3. 市民協働センターに支援してほしいことなど、希望があればご記入ください。

- ・菊川市長の話聞かせてほしい。アンケートをとりたい。
- ・アンケートを実施したいので配布するのを手伝ってほしいです。
- ・アンケートの協力お願いします
- ・親子にどんな公園があったらいいかや全世代にどうすればインドア化が進まないかのアンケート
- ・市役所との繋がりを手伝って欲しい。
- ・今後、支援して欲しいことがあるかも知れません、よろしくお願いします
- ・特にないです。

令和4年度 きくがわ高校生まちづくりスクール

第3回 実施報告書

令和4年8月30日
菊川市市民協働センター



日 時：令和4年8月28日（日）9：00～12：00

会 場：プラザきくる3階会議室

参加者：高校生15人とサポーター5人

内 容：中間発表会

- (1) 企画テーマ、目的・動機、調査の結果、考えた解決策プロジェクト内容についてグループごとに発表。ゲストの地域支援課 岡田係長、菊川市地域おこし協力隊 大山さんにアドバイスをいただいた。

1. 菊川駅周辺の賑わい

テーマ：来たくなるようなまち・いたいと思えるようなまち
高校生対象にアンケートを実施し、菊川駅周辺に飲食店

や勉強できる空間、カラオケ等の娯楽施設、フリースペース等が求められていることがわかった。

〈アドバイス〉 駅利用者や学校の市外学生数をデータとして集めるとわかりやすい。

2.農業

テーマ：若者の農業人口を増やすにはアンケートを実施し、「自分の家の田んぼも減って残念に思う」「田んぼの減少は、地域の景観の喪失にもつながり危機感を感じる」等若者も関心があることが分かった。一方で実際に行動する方法が分からない人も多い。

〈アドバイス〉 農業に興味を持っていても実際に行動できていないのはなぜなのか、その理由を分析してみると良い。

3.商店街

商店街や、菊川に昔あった映画館について調べた。映画館を作るのは難しいが鑑賞会などをして、映画を見る機会を作りたい。

〈アドバイス〉 区画整理事業についても調べると根拠があるプレゼンになる。

4.世代間交流

高齢者のコミュニティの場の確保、子供・若い世代と高齢者との交流、省エネ・環境の3点を目的とし、地区センターなどで人々が密着した、誰もが安心できる地域コミュニティの一層の強化をしていきたい。イベントの企画をしようと考えている。

〈アドバイス〉 解決策をじっくり考えた方が良い。本当にイベントが一番良い解決策なのか。

5.多文化

テーマ：外国人と日本人の結びつきが強い菊川市

月1くらいのペースで外国人と日本人の子供達を対象としたイベントを企画したいと考えている。実際ブラジル人学校でのNPO体験セミナーに参加した。日本人と外国人がイベントを通して交流することで、日本語に対する関心が高まり、お互いの文化を知るきっかけになると感じた。

(未来)の状態は？(〇〇な社会を作りたい、〇〇なまちにしたい。)

- ・ どうしてその理想(未来)を目指したいと考えた？動機は？
- ・ その理想(未来)に向かうために現状で課題となっていることは？
現状を調べてわかったことは？(たて・よこ・そろばん)
- ・ 理想(未来)のためにどんなプロジェクトを行う？
いつ、どこで、どんな手法で、どんな人の協力を得て？
- ・ そのプロジェクトを行うことでどんな効果や成果が期待される？

○ 次回までにこのシートを完成させ、プロジェクトの計画を完成又はプロジェクトを実際に始めておく。

○ 発表資料は別添

【レポート】フェイスブックにて発信

【第3回 きくがわ高校生まちづくりスクールを開催しました！】

8月28日、プラザきくで「第3回きくがわ高校生まちづくりスクール」が開催され、まちづくりに意欲のある高校生15人が参加しました。

今回はグループごとに活動の中間報告を行いました。

7つのグループ、「駅周辺の賑わいづくり」「外国人との共生」「公園の再活用」「若者の農業への参入」「読書を通じて豊かなコミュニケーションを養う」「商店街の活性化」「高齢者と子ども、子育て世代の交流の場づくり」はそれぞれ、これまでに回収したアンケート結果や関係者への聞き取り調査をプレゼンテーションで報告。

これから自分たちの展開したいプロジェクトのアイデアを語ると、講師の土肥潤也さんやゲストアドバイザー(地域おこし協力隊・大山智世さん、菊川市地域支援課・岡田祐三さん)から実現に向けてのアドバイスをもらいました。

後半は、企画/提案プランシートの作成に取り組みました。

プロジェクトを通して描く理想の未来、その動機、現状のデータ、いつどこで、どんな人の協力を得ながら行うかなどの具体案を書き出し、プロジェクトの骨格づくりをしました。

〈アドバイス〉ゲームやダンスなど、イベントの内容を誰もが気軽に参加できるように工夫できる。

6.公園活性化

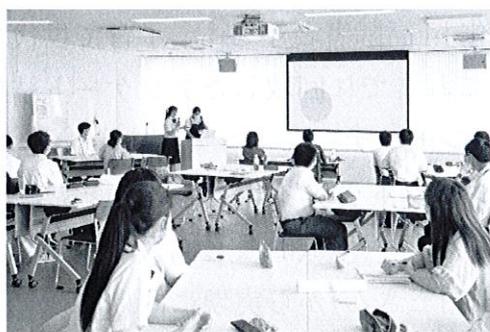
市内にたくさん公園がすでにあるが、上手く活用できていないことが課題だと感じる。イベントをきっかけに、公園の活用方法を知ってもらいたい。

〈アドバイス〉公園管理について（駐車場など）市役所でも情報共有できることがある。

7.読書

テーマ：読書を通じて、豊かなコミュニケーション能力を養いたい。
アンケートを実施し、本が嫌いな人は慣れてない部分が多いと感じた。本を紹介するための交流や広告で読書の良さを広めて、読書を身近に感じてもらいたい。

〈読書〉アンケートから、電車での通勤通学中にスマートフォンを使っている人が多いという結果があったがもしかしたらネットで本を読んでいるかもしれない。その点にも注目してみると新たな気づきがあると思う。



(2) 企画/提案プランシート作成

- ・あなた/あなたたちのプロジェクトを通して、目指している最終的な理想

きくがわ高校生まちづくりスクール第3回 アンケート

●今日の講座を通してどのような学びや気づきがありましたか。

他のグループの意見やまちづくりの仕方を学ぶことが出来た。

他の方々の気づき

他の人の意見を知れた

それぞれのグループで個性的な意見があることを学んだ

たくさんのグループの意見を聞けて、自分の意見にも活用できた。

自分の発表をして、聞いている人から新しい意見を得ることが出来て良かった。また、聞いていて自分のプロジェクトに活かせるようなことも発見できて良かった。

具体的になってきているが、そのぶん大きな課題が見えてきているのでそこを解決していきたい。

まわりのグループの方々がもうプロジェクトを考え始めていたこと

自分たちが思っている以上に課題が沢山あったのでそこを改善していきたい

目標を達成する為の課題をしっかりと、分析し、どうしたら解決できるのかを探求することが大切だと思った。

何かを起す際には想像以上に様々な苦労や入念な準備が必要なのだと改めて感じました。

●次回に向けて、疑問に思っていることや質問、講座への要望があれば教えてください。

イベントの進め方のアドバイスが欲しい。

また新しいことを知りたいです

●4. 市民協働センターに支援してほしいことなど、希望があればご記入ください。

イベントの場所

お願いします

外国人が対象のイベントがあればボランティアに行きたいので教えて欲しいです

本を置く木箱を作れる人に協力して欲しい。本の寄贈や貸してくれる人を新聞や広報で呼びかけたい。市長と話したい。広告を作りたい人を探したい

まだ不十分な点が多いため今は特になし

今後ともよろしくお願いします

令和4年度 きくがわ高校生まちづくりスクール

第4回 実施報告書

令和4年9月30日
菊川市市民協働センター

日時：令和4年9月25日（日）9：00～12：00

会場：プラザきくる3階会議室

参加者：高校生11人とサポーター5人

内容：マイプロジェクト会議

○プレゼンテーションのコツ 講義

プレゼンテーションをする際に気をつけた方が良いポイントを講師から詳しく指南した。

・伝わるプレゼンになるための5つのポイント

- ① プレゼンする相手の視点に立つ
- ② 共感を生む3つのポイント
- ③ 聴衆を仲間につける
- ④ 具体と抽象を使い分ける
- ⑤ 自分の腹から声を出す



○プロジェクト会議・活動のブラッシュアップ

グループごとに、プロジェクトの準備やプレゼンテーションの構成を考えた。それぞれ困っていることや質問などを講師に聞き、アドバイスをもらった。



○今後の流れ

11月1日にプレゼンテーション練習会を設け、講師に見てもらいアドバイスをもらえる機会を作る。その日までにグループごと準備を進める。

【レポート】フェイスブックにて発信

【第4回きくがわ高校生まちづくりスクールを開催しました！】

9月25日、プラザきくるで「第4回きくがわ高校生まちづくりスクール」が開催され、まちづくりに意欲のある高校生11人とサポーター5名が参加しました。

今回は最終回に向けて、まずプレゼンテーションのスキルを勉強しました。講師の土肥潤也さんは『相手の視点に立つ』『共感を生むポイント』『聴衆を仲間につける』『具体と抽象を使い分ける』『自分の腹から声を出す』など、プレゼンの際に大切な視点とその内容を詳しく指南しました。

その後、グループごとにプロジェクト会議・活動のブラッシュアップを行いました。

途中講師への個別相談も交えながら、各グループとも真剣な表情で今後展開できる実現可能なまちづくりのプランを練りました。

高校生まちづくりスクールの公開プレゼンテーションは11月10日(木)の18時から、プラザきくる3階で行われます。

高校生が取り組むこれからのまちづくりに興味のある方はどなたでも、ぜひご参加ください。

きくがわまちづくりスクール第4回 アンケート

1. 今日の講座を通してどのような学びや気づきがありましたか。

- ・公園の利用方法。
- ・地区センターで活動を行える人が想像以上にいた。
- ・プランシートのまだ足りないところに気づけた
- ・新しいアイデアが出た。自分がどの年齢を対象に何をしたいのか、迷走していることに気づけた。
- ・伝えると伝わるが違うことに気づいた。
自分は、伝わるよう頑張っていきたい。
仲間と行う企画が順調に進められていて、これからは楽しみ。
最後まで気を抜かず頑張りたい。
- ・自分たち(高校生)の思い描いていることを、周りの人たちと協力して実現できているんだと感じながら企画するのは楽しいと感じた。
- ・はい
- ・自分たち(高校生)の思い描いていることを、周りの人たちと協力して実現できているんだと感じながら企画するのは楽しいと感じた。
- ・自分たちで計画したことをうまく進めるということが難しいことを学んだ。

3. 最終報告会に向けて、不安に思っていることや質問、講座への要望があれば教えてください。

- ・上手く進行できるか。
- ・時間がない。何をすればいいのかわかんなくなってきた
- ・プレゼンをうまく伝えられるかが、不安。
そのために、土肥さんがお話ししてくれたポイントをしっかり活用したい。

4. 市民協働センターに支援してほしいことなど、希望があればご記入ください。

- ・アンケートの募集
- ・読み聞かせをするから広報してほしい。
- ・チラシの協力

令和4年度 きくがわ高校生まちづくりスクール

第5回 実施報告書

令和4年11月14日
菊川市市民協働センター



日時：令和4年11月10日（金）18：00～20：30
会場：菊川市役所東館 3階会議室

1. 開会挨拶 菊川市市民協働センター長

2. 高校生からの発表・・・【別添】発表資料

①「若者の農業人口を増やすには」

常葉大学附属菊川高校 3年 嶋龍之助

②「高齢者と子ども、子育て世代の交流の場作り」 WAO

掛川西高校 2年 戸塚俊作

小笠高校 1年 堀川朔太郎

掛川工業高校 1年 林直生

- ③「商店街の活性化」商店 guys
静清高校 1年 勝浦悠河
小笠高校 1年 澤村真菜美
小笠高校 1年 横山和奏
- ④「活字離れ」
常葉大学附属菊川高校 1年 三木睦実
- ⑤「公園を活性化させよう」三人官女
常葉大学附属菊川高校 2年 柳沢綺星
- ⑥「多文化交流」
小笠高校 3年 佐野駿斗
掛川工業高校 2年 浅井まい
- ⑦「来たくなるようなまち・居たいと思えるまち」ME T
常葉大学附属菊川高校 3年 磯崎心叶
小笠高校 3年 原田瑛司
小笠高校 1年 山口武瑠

4. 全体ディスカッション・・・【別添】ディスカッション内容一部抜粋

5. 総評 飯倉清太氏 NPO 法人 NPO サプライズ代表理事
静岡大学地域創造学館客員教授・内閣府官房地域活性化伝道師

6. 閉会挨拶

7. 修了証授与・写真撮影

全体ディスカッション 各サポーターからの報告

① 「若者の農業人口を増やすには」 嶋龍之助

- ・ (行政) いろいろな営農パターンがあるけれど、高校生が興味を持つのはどのような農業か？
 - (嶋) 農業だけでの収入は、正直厳しい。
興味を持つ人も多いが、趣味とか半農半Xとか。
苦労の話も聞いた。ちょっとずつでもやれるような農業がいいのでは。
- ・ (嶋) 農業コストをどうやったら下げられるか？
 - (行政) いろいろな営農の仕方があるので、一概には言えないが、少しずつの努力の積み重ね。スマート農業等もある。
- ・ (嶋) 地域振興と農業はつながらないのか。
 - (行政) 地域に農業の状況や営農について理解してもらうことが必要。

② 「高齢者と子ども、子育て世代の交流の場づくり」 WAO

- ・ 学童保育が無かったころ、おじさんおばさんが見てくれていた。
- ・ 発表を聞いて素敵だと思った。
- ・ 人が多いほうがいいが準備が大変。
- ・ 学年違うのによくやれる！高校生の活動素晴らしい！
- ・ 高校生の頑張りのチカラになりたい。
- ・ 子どもに声掛けは大変。
- ・ 難しいことは？→人集め。子どもは親に許可を取ったり習い事が忙しかったりするため、自由に参加できない。

③ 「商店街の活性化」 商店 guys

- ・ 昔は映画館や小さな個人の店がたくさんあったが、だんだん減っていった。
- ・ 赤レンガ倉庫を使ってくれて嬉しい。菊川が賑わう。
- ・ 地域それぞれまちづくりの仕方が違う。
- ・ 最近引っ越してきた。商店街は人がいないけど綺麗な印象。
- ・ 他のグループとコラボすることでよいものになる。
- ・ 掛川に住んでいる。同じことをやろうと考えていた。
菊川と掛川は似たような問題を抱えている。
- ・ 磐田でも上映会をやっている。

④ 「豊かなコミュニケーション能力を養う」三木睦実

- ・当初予定していたことができなくなっても、ちゃんと確実に活動をして進められたことが素晴らしい。
- ・電子書籍だけでなく紙の本も残しておきたいと思う。活字、読むことが大事。情報と活字の両立をしてほしい。
- ・本を読む環境が大事。古本をゲームしながら売る計画をぜひ手伝ってほしい。
- ・食と本は共通するツール。本棚づくりも良い。
- ・今回の気づきをきっかけに、ネットワークづくりを頑張してほしい。
- ・文苑きくがわの手伝いを是非してほしい。投稿者が少ない。編集などぜひ若い人に関わってほしい。

⑤ 「公園を活性化させよう」三人官女

- ・鉄棒が2つくらいほしい。
- ・菊川の公園のイメージは？
- ・公園1つ1つに個性を持たせてみてはどうか。
- ・公園に対する情報収集。
- ・商店街でスタンプラリーをしている所が静岡市である。
- ・スリルと安全性の両立。
- ・スマホで公園の情報を得るとしたらどのような情報か？
→ショート動画を撮影するために公園を場所を調べる。
- ・真っ白な壁やレンガなどシンプルなものが欲しい。

⑥ 「外国人と日本人の結びつきが強い菊川市」佐野駿斗

- ・日本語を教えるところが「やってあげる」「教えてあげる」などの作業にならないようにすることが大切。
- ・日本語を教えるだけでなく、お互いの国の文化(料理など)を知る機会があると交流が深まるのではないか。

⑦ 「来たくなるようなまち・居たいと思えるまち」MET

- ・コーヒーショップをやることはSNSで見えていて、行きたかったが予定があった。またぜひやってほしい。
- ・何時から何時までやっていたのか？→10:00~18:00

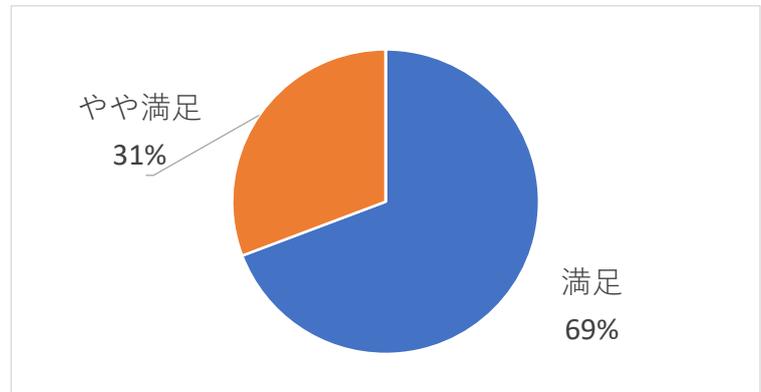
- ・プレゼンの最後に商店街活性化といていたが、具体的には？
→まだ考えられていないが、高校生がまたこういうチャレンジをしていくきっかけになったら良いと思う。
- ・12月に掛川でも商店街で屋台を出すからぜひコラボできたら嬉しい。
- ・高校生が実践してくれたことがうれしい。毎日菊川に来ているなら思い出を作ってほしい。またぜひ実施してほしい。
- ・沖ノ島に行ったことがある。高校留学を取り入れていたり、ユニークなところだった。アワビカレー…肉の代わりにアワビを使う。地元の人には高級、特別だとは思わないが、県外の人からしたら珍しい。このように、地元が気付いていない魅力はたくさんある。
- ・相良高校にビジネスチャレンジ部があるからなにか連携できたら良い。
- ・静岡出身で海士町に移住していた。今は静岡に帰ってきて教育関係のリモート勤務。高校生が言っていたように、静岡に良い思い出があれば人は帰ってくると思う。

きくがわ高校生まちづくりスクール

第5回・全講座振り返り アンケート（高校生）

1. まちづくりスクールの満足度はいかがでしたか。

満足	9
やや満足	4
少し期待と違った	0
期待はずれ	0
	13



（「満足」を選んだ理由）

- ・みなさん優しかった。
- ・自分の為になる経験ができたと思うから！
- ・普段あまり作ることのないプレゼンテーションを、しかも、大人の人に見せるものを作るのは初めてのことだった。
- ・土肥さん始め、沢山の大人の方、高校生と自分にとっていい出会いになった。
- ・グループのメンバーで協力しあってまちづくりをすることが出来た。
- ・たくさんの人と関わりが持てて、楽しく活動できた。
- ・自分では進んでやる事が無いであろう活動を、同じように地域の事を思っている人がいるんだと分かったら、色々やる気も出て、力及ばずな部分は多々あったがここまでやり通すことができた。
- ・緊張したけどとても楽しかった。
- ・市内だけでなく市外の参加者の意見を聞いた。
- ・多くの方との交流の機会が得られ、実際に思いを実行に移すこともできた。
- ・自分が住んでいる街の人とつながることができた。
- ・皆で工作できた。

（「やや満足」を選んだ理由）

- ・楽しかったが負担でしかなかった。
- ・楽しかった。
- ・初めてのことで新鮮だった。

2. 講座を通してどのような気づきや学びがありましたか。

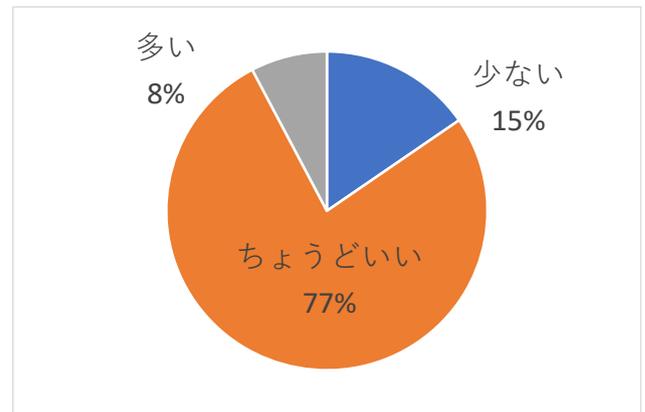
- ・今までは知らなかった菊川市の魅力。
- ・プレゼンテーションの分かりやすい作り方、相手への伝え方など、将来にも役立つことが学べた。自分が思っていたよりも、多くの大人の人からご意見を頂くことができた。高校生でまちづくりに携わる楽しさを実感した。
- ・ボランティアの際の動き方。
- ・人との関わりがとても大事だということ。
- ・自分で動けば協力してくれる大人がたくさんいること。
- ・たくさんの方が関わっていること。
- ・自分と歳の近い、そして同じ高校生という立場の人達と話す事で、この様な考えをしているのか、そんな事を思っているのかと、今まで理解し得なかった部分に気づくことができた。
- ・何かを企画して実行するにはたくさんの人に協力してもらわなきゃできないと分かった。でも、実現できたのは、ホントに良かったので、この経験を生かしていきたい。
- ・菊川市のいい所を再発見できた。
- ・チームで協力してやるのが楽しかった。
- ・菊川市を住みやすい町にするために様々な意見があること。
- ・自分の役割、責任を果たすことが重要。また、自分のように若くても自身が動けば周りの人も動いてくれることが多いことに気付けた。
- ・高校生に協力的な方が思ったよりもかなり多かった。

3. 反省や、今後改善したいこと・してほしいことがあれば教えてください。

- ・今後も地域活動に携わっていきたい。
- ・とても良かったため特になし。
- ・活動中あまり周りのグループの動きが見えなかったので、それが途中途中のまちスクで知れたらよかった
- ・言い訳がましく聞こえる様な言葉ではありますが、まちスク以外でやっている部活動や学校行事などでどうしても任せきりな所があったのは、猛省している。
- ・時間が足りなく、余裕をもてなかったので一番はそこを解決してやりたいと思った。映画上映では、商店街が活性化するにはまだ足りないと思ったので、もしやるなら今度は商店街の方たちとも協力したり、商店を使わせてもらって何かをしたいと思った。
- ・周知方法が要改善。

4. 全5回の開催について、意見をお聞かせください。

少ない	2
ちょうどいい	10
多い	1
	13



(「少ない」を選んだ理由)

- ・アクションを起こしたりするにあたって打ち合わせをしたいときに集まりづらかったから。
- ・もう少し、期間が長い方が多くの方にチャレンジするチャンスができるかと思った。

(「ちょうどいい」を選んだ理由)

- ・1ヶ月以上期間が空くと前の内容を忘れてしまう。
- ・1ヶ月に1回だからその間に色々できてよかった。
- ・1ヶ月に1回でちょうど良かった。
- ・意見をじっくりまとめられる。
- ・期限までに作り上げることができた。
- ・高校生という立場上、個々人によるがかなり予定が多いとその分他のチャンスを逃してしまったりしてしまう部分は少なからずあると思うのでこの位がちょうど良いのかなと思う。
- ・作業や企画が計画的に進められた。
- ・少なすぎず、多すぎず、ちょうどよかった。
- ・個人での活動も多くなるから(ボランティアの)
- ・5回以外にも自分たちで行動できた。

(「多い」を選んだ理由)

- ・やっぱり都合もあって、全部の開催に来るのは難しいと思った。

5. その他感想や要望など、自由に記入してください。

- ・とても良い活動になった。
- ・これからもこの経験を活かして、菊川市のまちづくりに携わっていきたい。
- ・皆さんと活動できてとても楽しかった。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました、今後ともよろしくお願いします。
- ・このような体験ができて、本当に幸せで有意義な半年間だった。

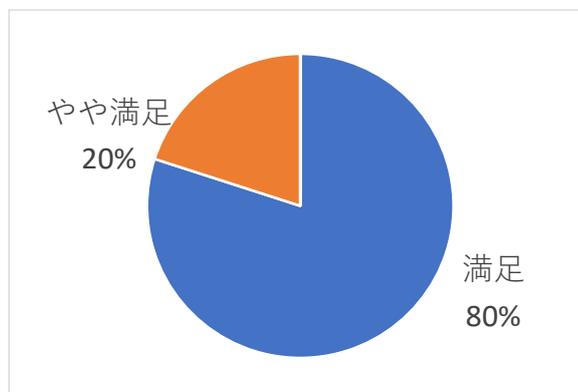
まちスクに関わり協力して下さった皆様方に、改めてありがとうございました。

- ・サポーターももっと一緒に作っていきたかった。サポーターだからじゃなくて仲間としてやっていきたかったです。

きくがわ高校生まちづくりスクール 第5回・全講座振り返り アンケート（サポーター）

1. まちづくりスクールの満足度はいかがでしたか。

満足	4
やや満足	1
少し期待と違った	0
期待はずれ	0
	5



（「満足」を選んだ理由）

- ・ 高校生の地元への課題意識がハッキリしていて沢山の参加者がそれぞれ課題だと思うことについて考え、実行しているところをこんなに近くで見れる経験はないと思う。
- ・ サポーターという去年とは違う立場での参加で、高校生の活動に関わることが出来た。色々な人との交流が生まれ、私自身にとっても非常に刺激のある活動となった。
- ・ 高校生と一緒に自分自身も企画やプレゼンの仕方を学ぶことができた。最終報告会で地域の方々の高校生を応援する姿が素敵で感動した。
- ・ 様々な経験をすることができた。

（「やや満足」を選んだ理由）

- ・ 高校生のアイデアに触れて、サポーターの私が良い勉強になった。

2. 講座を通してどのような気づきや学びがありましたか。

- ・ 菊川市在住でない高校生も通学に利用していたりすることでその町について強い関心があることに気づいた。
- ・ 情報収集の大切さ。
- ・ 積極的に活動に参加し、興味を持ってくださる地域の方がたくさんいた。高校生にとっても多くの発見があったり、今後に繋がるようなものが出来たりして、学生がまちづくりに参加することは、地域にも学生にも、とても大きな意味があると気づいた。
- ・ 計画を立てる上でもコミュニケーションをしっかりと取ることが何よりも大切だと思った。小さなアクションでも、やってみた方が良い。やってみると新たな視点からアイデアが生まれる。
- ・ 自分の足りない部分を知ることができた。

3. 反省や、今後改善したいこと・してほしいことがあれば教えてください。

- ・自身のサポーターとしての力不足を感じた。
- ・途中で参加が難しくなってしまうたり、活動が思うように進まなかったりするチームがいくつか見られた。チーム内での連絡やコミュニケーションがもっとスムーズになると、より発展した活動になるのではないかと考えた。
- ・サポーターがどれくらい関与したら良いのか、進めながら自分たちで気づくのも大切だと思うがサポーター全員で初めに共通認識があった方が良いと思う。また、中間報告だけでなく、進めながらも他グループの様子・進捗がわかった方が良いと思う。
- ・グループでのコミュニケーションを頻繁に行うようにしたい。

4. 全5回の開催について、意見をお聞かせください。

少ない	1
ちょうどいい	4
多い	0
	5



(「少ない」を選んだ理由)

- ・全体参加の回数はちょうどいいと感じたが、各チームごとの打ち合わせなどの時間が必要だと感じたため。

(「ちょうどいい」を選んだ理由)

- ・1ヶ月に1度くらいの頻度で集まるので周りの雰囲気と自分の今いる位置を知れていいと思った。もし、可能であるなら夏休み期間にもう少し増やしてもいいのかなと思った。
- ・用事が多く忙しかったが、ちゃんとまちスクに参加する事ができたから。
- ・全体参加の回数はちょうどいいと感じたが、各チームごとの打ち合わせなどの時間が必要だと感じた。
- ・1ヶ月に1回講座があるこのペースが良いと思ったから。高校3年生は忙しそうだったため、募集の時に、"講座以外の時間での活動もあり"などと一言あると、高校生があらかじめスケジュール感を理解できると、思ったよりも忙しくて残念…とならないので良いと思う。
- ・回数が多いないので気軽に参加できる。

5. その他感想や要望など、自由に記入してください。

・"高校生がずっと前向きでやる気に満ち溢れていたのも自分も負けてられないなと思いました。ハロウィンのイベントで私のチームの生徒達はチラシを配ったのですが、自分たちでお揃いの仮装をしてターゲットとしている親子世代に寄り添ったアプローチをされていて凄いなと思った。

・今回のまちスクでは、全チームが企画を行動に移しており、とても良いと感じた。昨年のもものよりも課題の視点がさらに広がっていた。来年も、何かできることがあれば関わっていきたいと思う。

・これをきっかけに、さらにいろいろなチャレンジをして地域と関わってくれる高校生が増えてほしい。これで終わりではなく、これからも高校生と関わっていければ良いと思う。